

全国 ESD コンソーシアム/ステークホルダー円卓会議 2025 (奈良教育大学 2025. 2. 22)
ESD コンソーシアム円卓会議 「地域に根差した ESD for 2030 の推進に向けた地域コンソーシアム間の
連携の構築」： 9 : 45 『ESD コンソーシアム・ショーケース (事例発表)』 (90 分) のうち

V. ESD・国際化ふじのくにコンソーシアム

(その1 : 田宮縁等報告 7分/ [その2梅澤収報告 : 発表3分予定](#))

ESD 実践の基盤となる公立学校の組織・カリキュラムのモデル開発

*【コンセプト】大学と公立学校の (連携・協働による) 金型づくり (モデル開発)

リーダー：梅澤 収 (2020~2021 年度ユネスコ補助金事業)

2020 年度報告書：『ホリスティックな学校組織・カリキュラム改革』 (2021 年 2 月刊行)

2021 年度報告書：『義務教育学校をホリスティックに構想する』 (2022 年 2 月刊行)

2022 年度報告書：『複雑系の実践⇔制度のアプローチの枠組み~令和の教育にビルドインする~』
(2023 年 3 月刊行) *大学プロジェクト支援経費

→**機関包括型 (whole institution) 改革**

+**ユネスコの教育・教員政策と高等教育政策**

ESD 実践の基盤となる公立学校の組織・カリキュラムのモデル開発フォローアップ事業

○2023 年度フォローアップ事業 リーダー：島田桂吾准教授 サブ：梅澤特任教授

- ①令和の学校教育及び教師教育の改革の考え方 (チームによる実践型研究)
- ②新しい教職大学院の制度の構想について (試行：アクションリサーチ研究を軸に)

○2024 年度フォローアップ事業 リーダー：島田桂吾准教授 サブ：梅澤特任教授

- ①ESD/SDGs 時代に対応した高等教育政策と国立大学法人改革の検討：UNESCO の動向に学ぶ
- ② 静岡大学の教員養成改革の課題と方向性について

○今後の予定：フォローアップ事業は今年度で終了

島田桂吾准教授を中心に、これまでの成果を学会で発表するとともに、機関包括型アプローチの視点から、ESD/SDGs と公立学校改革や教師教育改革、及び国立大学改革の接合を探究する。以上。